

2016年度サンフランシスコ校・サンノゼ校 保護者会合同総会

日時：2017年2月25日（土） 10:18—10:56

場所：幼小部サンフランシスコ校 2階カフェテリア
A.P. Giannini Middle School
3151 Ortega St. San Francisco 94122

記録：木田（SF校書記）小林（SJ校書記）

司会：松田（SF校副会長）

10:18 開会宣言：松田（SF校副会長）

サンフランシスコ日本語補習校合同総会を始めたいと思います。本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。

保護者会代表会長挨拶（SJ校会長 山本）

SF校の小泉会長をさしおいて代表会長とはたいへん恐縮ですが、ただいまご紹介に預かりましたサンノゼ校の山本久美子です。皆さまおはようございます。

まずは、今年度はサンフランシスコ校で保護者会総会を開催するという事で、サンフランシスコ校の皆さま事前の手配、準備などありがとうございました。ご来賓の皆さま、保護者の皆さま、本日はお多忙中、ご出席頂きありがとうございます。

今年度も保護者会では多くの行事を行いました。皆さまのご協力のおかげで無事に一年を終えることができました。あっという間ではありましたが、サンフランシスコ校、サンノゼ校両校ともに各イベントや多くの課題にひとつひとつじっくりと取り組むことができました。

合同役員会とは別に両校でミーティングを設けたり、頻りに情報交換を行い、二校でともにより良い方向に進めることができ、また次年度にうまく引継げるように体制も整えている次第でございます。そして続けて、保護者会の仕事のスリム化およびマニュアル化などを今後も進めていきたいと考えています。

私事になりますが、夏休み明けに急遽会長になってしまい、とても不安でしたが、副会長をはじめ仲間の役員の方が一生懸命にサポートをしてくださり、サンフランシスコ校の役員の方からも励ましのお言葉を頂いたり、保護者の方々のご協力があって、約半年間ではありますが会長を務めることができました。出会えたすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、今日すでにお集まりいただいています来年度の新しい役員の方へ引継ぎをさせて頂きたいと思っております。

最後になりましたが、今後のサンフランシスコ日本語補習校のさらなる充実と発展のために、来年度も引き続き皆さまのご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。私の挨拶とさせて頂きたいと思っております。ありがとうございました。

10:21 来賓のご紹介（松田）

安井理事長、上里校長、青柳事務総長、坂田主幹

10:22 校長先生のお言葉（上里多一校長）

一年の経つのが本当に早いですが、こうして2016年度の合同総会をこの場で行うことができ一年間本校の教育を支えて頂きました皆様に改めて感謝を申し上げます。終わりは次への始まりです。本年度の成果と課題を抱えさらなる発展をしていく所存ですのでよろしくお願い致します。最後の保護者会にあたり2点申し上げたいことがございます。

1、お子さんの一人一人の成長、変化を見て欲しいください
毎日身近にいと小さな成長や変化を見逃してしまいがちです。学習の取り組み、考え方、行動、一人一人の子供によってなにがどのように成長したのか、度合いにも個人差があります。学校や家庭とでの成長も違います。学年の節目に子供が成長しているのか、子供の自立について視点を変えて見て欲しいです。そしてその成長を励まして、認めて、次の学年につなげて欲しいです。

2、日本の社会、世界が急激に変わってきます
これに伴い教育の現場にも同様に変化がおこっています。学校教育でも社会の変化に対応するために、10年間に一度、学習指導要領が改定されていますが、教科、内容、時数（国語が週4時間、算数が週3時間などが）が改定されます。昨年の12月に文科省より学習指導要領が改定され、来月3月より新学習指導要領が告示されます。これに関しては、国民の一人一人に意見を提案して寄せてください、とお願いしており、3月に正式に告示されます。それによって、幼稚園は2018年度から全面実施、小学校は2020年度、中学校は2021年度、高校では2022年度から全面的に実施していきます。文科省はどのように学ぶか、何ができるようになるかを視点にしています。これからは主体的で対話的で深い学び、アクティブラーニングを（AL）を求められる時代です。本校においてもそれに合わせて段階的に改善していく所存です。皆様からのご理解をお願い申し上げます。

10:29 定足数の報告（SF校IT担当 吉田）

委任状および参加者の集計

在籍数1,174家族に対し、委任状と出席者で761家族。

定足数392のところ約2倍ということで本総会は成立した。

10:32 保護者会活動の報告（SF校会長 小泉）

<立ち上げの際の大きな3つの目標>

- 1、保護者から親しみのある楽しい活動を作る
- 2、保護者とのコミュニケーションを深め、保護者の総意を代表する
- 3、メンバーの多様な意見を尊重する

<スライドで一年間をざっと振り返る>

1、Tシャツ実行委員会にご尽力を頂き、デザインから販売を含めて一生懸命やっていただいた。500枚近くを売り上げることができた。

2、主なイベントの紹介

- クラス委員説明会でのIT吉田による補習校システムの説明の写真—これでキックオフ。
- 秋祭り お子さんが楽しみにしている行事。たくさんのボランティアの方々に助けていただいた。伝統を引き継ぐことができた。
- 中高部フードセール 幼小部に行事が集中しがちだが、中高部における一大イベント。たくさんの保護者とベンダーのご協力を頂いた。大盛況に終わった。
- 古本市 毎年行っている企画。保護者から集めた古本の蔵書の負担が大きいので今年は2ヶ月ほど倉庫を借りた。なるべく図書委員とボランティアの方々の負担を減らした。コストはかかるが、いいお金の使い方をしていこうと工夫した。
- 年賀状コンテスト 木田書記の発案で今年初めての企画で年賀状コンクールを行った。お子さんだけでなく、教職員の方々も含めた60作以上のユニークな作品が集まった。

10:35 保護者会活動の報告 (SJ校会長 山本)

<一年間の活動の流れを説明>

- 運動会、古本市、秋祭り、フードバザー、ホリデーギフト、新年お楽しみ会など

<サンノゼ校オリジナルウェアの紹介>

- 昨年度からTシャツ委員会を立ち上げ夏休み明けから稼働した結果、販売までに時間的なゆとりができデザイン作成にも時間をかけられた。昨年比\$2,410の売上増となった。総売上は約850枚で約\$10,100。売上金の一部は、秋祭りや新年お楽しみ会の備品・景品に使用。現在は、再度Tシャツ委員会を立ち上げ、来年度に向け準備に取り掛かっている。

<活動ハイライト>

- 幼小部図書コーナーにキャビネット5台購入、人気本を多数購入した。
- 中高部図書コーナー 有志の保護者により月1回図書コーナーをオープンし大変盛況。来年度は正式に中高部図書委員会の運営を開始する。
- 保護者会業務の可視化と効率化 年度初めに保護者会役員の紹介、活動内容を広報するチラシを発行。「今週のお知らせ」の編集後記を持ち回りで記入。保護者会業務簡潔化を図り、前年度の全役員が今年度のサポートをすることによって行事が円滑に滞りなく行うことができた。
- 学校と保護者の橋渡し 校長先生と茶話会かけはしを開催
- 写真紹介 幼小部古本市、秋祭り、中高部フードバザー、新年お楽しみ会、茶話会かけはし
- クラス委員、図書委員、係、ボランティアをしてくださった皆さんのおかげで今年度も無事に終えることができた。

10:41 決算見込み報告 (SF校会計 西村)

<収入の部>

- 平成27年度 収入合計\$49,169 (予定)

- 対予算減増額\$2,000程度の赤字（予想）

赤字の理由：

図書委員、Tシャツ実行員の頑張りによって古本市、Tシャツの販売において、予想以上の収入を得た一方で、秋祭りでは限られた時間内ではお小遣いを使い切れず収入が減る。中高部フードセールでも同じく限られた時間内での半額セールで収入が減る。

オンラインオークションはディズニーランドチケット&ワイナリーツアーなど高額商品を寄付していただいたが、予算額の設定が高かった。来年度にはその点を反省として伝えていきたい。

<支出の部>

- 収入と同じく\$49,169（予定）
- 対予算減増額\$1,750程度の黒字（予定）

特に秋祭りに関しては、当たり景品を日本から輸入して用意し、はずれ景品を（アメリカの）ダイソーなどで用意し、総額\$1,274の支出を抑える。

黒字分：

- 余剰金は新入生祝いや卒業祝いで生徒さんに還元。
- 年賀状イベントを今年より保護者会主催のイベントとして創出。ギフトカードを参加者に配布。支出（勘定項目）は「その他」に入っている。
- 幼小部へ\$2,000の寄贈品、中高部へ\$1,000の寄贈品、図書委員へ\$500の寄贈品

<収支見込みおよび繰越金について>

ほぼ予算通り

10:46 決算見込み報告（SJ校会計 佐藤）

<収入予算比較>

- 収入は年初に立てた予算案通りにほぼ推移。対予算約\$2,757（5%）増。
- 主な要因として、Tシャツ販売の売り上げが大変好調で約\$2,400増加、生徒数増による保護者会費の増が約\$600。これを合わせて約\$3,000増となった。

<支出予算比較>

- 当初の予算約\$59,000に対して約\$61,000となった。収入が増えて余った分を各種のサポートに使用したため。
- 学校行事サポートの費用が約\$3,000余ったため、各種イベントのために使った。

<収支見込み及び繰越金>

当年度収支はプラス約\$1,000とほぼ予算通り。繰越金は約\$25,000となる見込み。

10:51 議案の報告

提出なし

10:51 2017年度の役員の紹介と承認

＜サンフランシスコ校次年度役員紹介＞

谷 朋紀（会長）

ハーヴィー 智恵（副会長）

ショーラー 郁子（書記）

山崎 恵理（会計）

斎藤 千尋（IT）

仁 美沙恵（4、5年、幼小部主幹担当）

メラス 久美子（行事）

小野 明子（図書、一斉メール）

レイモンド あや（1、2年、一斉メール）

野村 文子（幼稚部、一斉メール）

ペトルッチ 沙弥香（5、6年）

佐野 由美子（中高部、中高部主幹担当）

＜サンノゼ校次年度役員候補紹介＞

上田 のりこ（会長）

林 竜也（副会長）

佐伯 あや（書記）

豊田 倫由紀（会計・欠席）

クリスチャンセン 美雪

倉田 久美子

三浦 綾子

大滝 俊介

セゲディ 茜

前川 まきえ（欠席）

西城 幸江（欠席）

残り1名は調整中

10:55 質疑応答

なし

10:55 裁決

本日の総会の全ての議事にご賛同いただける方は拍手してください
満場一致で承認

10:56 閉会宣言